

千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム 2018年度事業実施内容とその評価

	事業	数値目標（評価指標）等	2018年度実績	コンソーシアムの評価	
<b>目標Ⅰ 各大学間の連携の推進</b>					
課題①	教育の質の保証・向上（授業内容等の改善）	共同FD（ファカルティ・ディベロップメント）	年延べ30名以上の参加 2018（平成30）年度開始	2018年9月5日に第19回法政大学FDワークショップ（コンソ共催）を開催し、教員5名が参加した。	数値目標達成に向けて、次年度以降継続して努力が必要である。
課題②	教育の質の保証・向上（教育研究活動等の適切かつ効果的な運営）	共同SD（スタッフ・ディベロップメント）	年延べ50名以上の参加 2018（平成30）年度開始	2018年9月5日に第19回法政大学FDワークショップ（コンソ共催）を開催し、職員103名が参加した。	数値目標を達成している。
課題③	各大学間の学生の交流の活性化	学生共同ボランティア	年間延べ100名以上参加 2018（平成30）年度開始	コンソーシアムが共催・協力する学生共同ボランティア等の学生参加連携事業を24件開催した（共催・協力・後援・協賛を含む）。これらに延べ680名を超える学生が参加した。	数値目標を達成している。
課題④	多様な学びの提供	単位互換の実施	2020（平成32）年度開始	運営委員会の下に設置したワーキンググループと単位互換準備委員会で実施に向けて検討を開始し、2019（平成31）年4月付で加盟大学間で単位互換に関する協定を締結し、2020（平成32）年度から単位互換を実施することを決定した。また、実施に先立ち、2019（平成31）年度に試行することを決定した。	2020（平成32年度）の開始に向けて準備が進められている。
<b>目標Ⅱ 各大学と千代田区（関係団体等を含む）との連携の推進</b>					
課題⑤	千代田区への研究成果の還元	「千代田学」事業	年5件以上採択 2018（平成30）年度開始	2018年度の「千代田学事業」に加盟大学で合計7件が採択された。	数値目標を達成している。
課題⑥	地域コミュニティの活性化	地域向けイベント等開催又は参画	地域住民延べ千名以上の参加 2018（平成30）年度開始	コンソーシアムが開催又は参画（主催・共催・協力・協賛・後援）する地域を対象に含めたイベント（「夏休み子どもゼミナール」、「千代田区子ども検定・神田錦町クイズ」、「大妻さくらフェスティバル」他、区内で行う学生共同ボランティア等を含む）を実施した。これらに約1,300名の参加者があった。	数値目標を達成している。
課題⑦	地域の教育支援	地域向け共同公開講座等の実施	年1回以上実施 2018（平成30）年度開始	コンソーシアムが主催する地域向け共同公開講座（「夏休み子どもゼミナール」、「千代田区子ども検定・神田錦町クイズ」）を開催した。	目標を達成している。
<b>目標Ⅲ 各大学と地域産業界等との連携の推進</b>					
課題⑧	学生による地域産業振興支援	地域産業界との連携教育プログラムの実施	年1企業以上との実施 2018（平成30）年度開始	「千代田区商工団体公式イベントナビ運営体験プログラム」（千代田区商工業連合会との共催）及び「東商千代田ビジネスフェア（イベント企画・運営型インターンシップ）」（東京商工会議所千代田支部との共催）を実施した。	数値目標を達成している。
<b>目標Ⅳ 各大学と地方の大学との連携の推進</b>					
課題⑨	地方の大学との学生交流の活性化	相互参加型教育プログラムの実施	年1回実施 2019（平成31）年度開始	2019（平成31）年度からの開始に向けて事務局で情報収集等を行った。	2019（平成31年度）の開始に向けて準備が進められている。
<b>目標Ⅴ 千代田区キャンパスコンソの運営基盤強化（千代田区キャンパスコンソが必要と認めた事項）</b>					
課題⑩	積極的かつ適切な情報公開	共同IRの実施と公表	年3項目以上分析・公表 2018（平成30）年度開始	運営委員会において「数字で見る千代田区キャンパスコンソ」を策定した。10項目（専任教職員数（状況）、卒業生・修了者の職業別状況、2018年度入試入学者の状況等）	数値目標を達成している。次年度以降、継続して取り組むことが必要である（経年分析）。
課題⑪	地域リスクマネジメント	災害時連携体制の検討又は事業実施	年1回以上の検討・事業実施 2018（平成30）年度開始	運営委員会において、大規模災害時における千代田区との協体制の内容を確認・検証した。	数値目標を達成している。次年度以降、継続して取り組むことが必要である。
<b>その他の事項（千代田区キャンパスコンソが必要と認めた事項）</b>					
課題 又は 目的	コンソーシアムの広報と初年度事業活動のまとめ	コンソーシアム開設記念シンポジウムの開催	—	2018年12月1日に、千代田区、千代田区商工業連合会の後援により、二松学舎大学で開催した。基調講演（法政大学総長、千代田区長）、パネルディスカッション（5大学学長と千代田区長）、学生等による活動報告（ステージプレゼンテーション、ポスターセッション）を行った。学生・大学教職員、区内在勤者等、約120人が来場した。	事業の目的を達成している。

千代田区の意見

千代田区の基本計画の目標の一つに「豊かな地域コミュニティが息づくまちづくり」があります。これは、震災等を契機に、「協働」といった地域コミュニティの重要性が再認識されている中、町会・自治会・商工業団体等の加入率の低下に見られるように地域コミュニティ機能の減退が課題となっている現状を打開するための目標であります。このような課題解決に向け、様々な活動主体の連携・協働が不可欠であり、地域を越えた新しいリーダーが必要となります。この観点から「目標Ⅱ 課題⑥ 地域コミュニティの活性化」において貴コンソーシアムが地域で果たした役割がまさに新たなリーダーに位置づけられると評価できるものです。更なる地域のリーダーとしての新たな取組みに期待するところです。今後とも「千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム」の運営によって蓄えられたリソースを千代田区の課題解決に繋げて頂ければと希望いたします。

千代田区商工業連合会の意見

千代田区商工業連合会（商工連）は「人と地域をつなげる舞台」という基本方針のもと、千代田区内外のさまざまな組織・団体との連携を推進・支援しており、「千代田」の地域資源を活用し、農商工連携やシティブロモーション等の活動を通じて魅力ある「千代田」づくりに貢献する活動を行っています。千代田区キャンパスコンソのビジョン・目標の「各大学と地域産業界等との連携の推進」等は、商工連の活動コンセプトと同じ方向性を有しており、両者が連携することは大きな意味を持つと考えられます。2018年度の連携事業として、商工連は、連携教育プログラム「イベントナビ運営体験プログラム」の企画・運営を千代田区キャンパスコンソとともに行いました。12人の学生がこれに参加し、地域の魅力を学生の視点を生かして発信するこの取組みは、まさに、魅力ある「千代田」づくりに資するものでした。千代田区キャンパスコンソ設立2年目となる2019年度も、商工連（地域産業界）、各大学の学生・教職員、千代田区、地域住民等、千代田区キャンパスコンソの関係機関・関係者との間で、引き続き有機的な連携を図りつつ、様々な連携事業に取組んでいられることを希望いたします。